



区民の皆様へ

第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会

協議会だより

2018

第51号

平成30年10月1日発行

■発行 第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会／会長：青木 武雄

■編集 総務広報部会 広報委員

生涯学習青少年育成部会

第68回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は法務省が主唱し、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心して暮らせる社会を築くことを目的に行われている全国的な運動です。

毎年7月を強化月間として、この運動の主旨を広く理解してもらうために、各地区で街頭啓発活動などを行っています。

長野市では、長野保護観察所が長野県推進委員会事務局となり、7月2日（月）午後4時45分からJR長野駅前広場（善光寺口）で、長野地方検察庁検事正、長野県知事代理、長野市長代理など関係者や関係団体が出席して式典が執り行われました。第五地区



からは青木住自協会会長、近藤住自協副会長と保護司が出席しました。

昭和小学校金管バンドによるオープニング演奏のあと、関係者からあいさつがありました。式典の後、来賓の皆さん、少年野球チーム、信濃グランセローズ、長野パルセイロの選手により“社会を明るくする運動”の広報物を通行人に配布して、街頭啓発を実施しました。

第五地区からのお知らせ

平成30年度 第五地区地域力向上支援金事業

～第五地区で活動する団体に支援金が交付されました～

平成26年度から始まった「第五地区地域力向上支援金」は、長野市地域活動支援課が、地域で活動している様々な団体に対し、地域の活性化や課題の解決に、その活動を支援するために交付するものです。選考委員会が、応募のあった事業の中から支援対象事業を決定します。

平成30年度は下記事業が決定しました。地域の活性化や課題の解決に向けて、活用してもらうことになります。



地区	事業主体	事業名・金額	事業の概要
中御所	中御所区	地域の安全・安心の実現を図る上で必要な機器等の購入事業 [支援金] ￥280,000	公民館は毎日利用されており、近くにウォーキングロードも整備されていることから、公民館付近にはAEDの設置がないため、公民館に設置して緊急時に対応できるようにする。区民向けに使用方法の講習会を開催し、安全・安心なまちづくりを推進する。
北石堂町	北石堂町区	地域の安全・安心の実現を図る上で、必要な機器等の購入事業 [支援金] ￥200,000	大規模な災害が発生した場合、市の指定避難所に避難できず、地区の公民館に避難し、避難生活を送らざるを得ない場合に備えて、最低限の避難用品を整備する。
合計		￥480,000	

中心5地区『ながの未来トーク』 ～地域の未来について市長とトーク～



恒例の第一から第五地区住民自治協議会合同開催の『ながの未来トーク』が、7月21日（土）に長野市生涯学習センター（トイーゴ）で行われました。

従来は『活き生きみんなでトーク』として行われてきましたが、今回から一歩前進し『ながの未来トーク』として、地域からの提案を市から回答する「議題提案方式」と、地域が抱える問題点や要望などを自由討議する「未来トーク方式」の二部構成で、地域の未来について、市長とトークする主旨で行われました。

第一から第五地区住民と、長野市から加藤市長ほか関係部長が出席し、積極的な議論が交わされました。

第一部の「議題提案方式」では、公共交通の整備や道路網および関連施設の整備などについて話し合われました。

第五地区からは、大規模災害が発生して避難を強いられた場合、第五地区は山王小学校、裾花小学校が市の避難場所に指定されていますが、ここには市の防災倉庫が設置されておらず、早急な設置を要望しました。

これに対して市の回答は、「第五地区には防災倉庫が未整備だが、その補完対策として、両校に避難所（学校）備蓄として必要最小限の防災用品を配置している。初動時にはその備蓄品を活用してもらい、その後必要に応じて市内の防災倉庫から必要物品を搬送するのでご理解いただきたい。」とのことでした。

第二部の未来トークでは、城山公園整備事業や南石堂地区での再開発事業など、活性化に向けた5つの事業の取組の概要について説明がありました。

また、この地域に新しく開学した長野県立大学からも学生さんが参加され、学生会会長の女子学生は「1年生250名は全寮制で、2年生からは寮を出て暮らすが、住むには中心街に住みたいと思う。市も住む場所に協力してほしい。」。また、象山寮長からは「長野市で育って寮に入ったが、寮の方が居心地が良い。学生が住める住居が少ないので、市として対策を考えてほしい。また、市では今回の「未来トーク」のように、学生の声も聴く場を設けてほしい。」との発言がありました。

加藤市長は「人口減少に歯止めがかからず、子どもの減少にも歯止めがかからない。高齢者が増加しているが健康で100歳まで元気で暮らしてもらいたい。市でも前向きに取り組んでいきます。」と総括しました。



まちの喫茶店 ～懐かしのレコード鑑賞会～



昭和30年代に全盛を極めた、レコード針のプレーヤーと優しい音色を奏でる真空管アンプでLP・SPレコード盤を聴くのが静かなブームになっています。

思い出の音楽を聴きながら、流行った頃の時代を思い出したり、エピソードなどを話し合い、昭和の時代を懐かしむひとときを、長野市では歴史がある北石堂町の喫茶店「山と渓谷」で開催しました。

参加者は、それぞれ保存しているLP盤やSP盤のレコード盤を持ち寄り、当時の再生機器でJAZZ、ポピュラー、モダンジャズ、美空ひばりのジャズ、歌謡曲などをリクエストをしたりして聴きっていました。

後半には、美空ひばりの「りんご追分」、ペギー葉山の「南国土佐を後にして」やフランク永井の「有楽町で逢いましょう」など懐かしの曲を、参加者で口ずさんでひとときを過ごしました。



子どもカヌー体験教室 ～湖面を楽しく乗りこなしました～

今年は異常気象で、関東甲信の記録にない早い梅雨明け、そして夏は毎日が猛暑日で毎日最高気温が更新されています。地域間交流事業で地域の活性化を図るため、第五地区住自協は信州新町地区住自協と交流しています。学校の夏休みが始まった7月31日（火）に、小学校4年生から6年生の児童と付添のお母さんなど総勢31名が信州新町を訪れ、犀川が水内ダムでせき止められた「ろうかく湖」で、子どもカヌー体験教室を開催しました。



信州新町美術館下の犀川河川敷の広場で、篠ノ井高等学校犀峡校カヌー一部の先生から、パドルの持ち方、回転の仕方などの指導を受けました。このあと、カヌーに乗りこみ、カヌー部員の指導で湖面をマイペースで漕ぎ出して行きました。信州新町も当日の気温は37度と猛暑日でしたが、湖面を吹き抜ける風は心地よく堪能していました。今回は特別に付添の大人も希望者がカヌーに乗せてもらい、湖面で楽しんでいました。



帰りには信州新町化石博物館で、世界最古のクジラの化石や、恐竜の骨格標本などを見学し、化石の研究室で、新町博士から化石のでき方や、採取、クリーニングの仕方など、ビデオ映像で勉強しました。

児童には夏休みに入って、宿題の題材がいろいろ見つけられた一日でした。

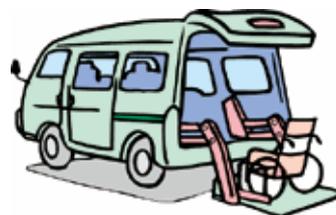
中心5地区「地域たすけあい事業」連合会総会

第一から第五地区の高齢者や障がい者、母子父子家庭の方が日常生活で困った時に、地域の皆さんが有償で、家事援助や外出のお手伝いを行う事業を実施していますが、この総会が4月12日（木）に権堂イーストプラザ市民交流センターで、当番幹事の第三地区住自協の主催で開催されました。



第三地区湯本会長はあいさつで「この事業も住民に浸透しています。さらに充実させたい。」。また、来賓の社会福祉協議会庭山次長は「これからも皆で支える思いやりと優しさを持った地域づくりを目指してがんばってください。」とあいさつされました。

議事で、平成29年度事業報告・決算報告、平成30年度事業計画（案）・予算（案）など一連の議題が承認されました。平成30年度当番幹事の第四地区横田会長は「中心市街地は横の繋がりが希薄になりがちだが、幸いにも長野市の中心5地区は、横の連携が強いと周りから注目されています。たすけあい事業を通して横の連携をさらに強めていきたい。」と、あいさつされました。



		第1地区	第2地区	第3地区	第4地区	第5地区	合計
家事援助	登録者数	24	36	20	18	17	115
	利用件数	255	203	192	50	114	807
福祉移送	登録者数	33	78	24	13	23	171
	利用件数	458	705	98	276	346	1,883

各町からのお知らせ

南北石堂町 末広町より

ながの祇園祭 ～御祭礼屋台巡行～

歴史と伝統ある「ながの祇園祭」の宵山が、7月7日（土）夕暮れから宵山が長野東急中央通り側駐車場で行われました。北石堂町屋台や市内10校の小学生が描いた^{じゆもの}俄物が飾られ、齋藤安彦弥栄神社宮司ほか関係者で鏡割りが行われました。北石堂町置き屋台では藤間千勢津社中の「舞踊」や山本謙竹社中の「お囃子」が、観衆に華やかに披露されました。

本番の8日（日）は、午前9時からセントラルスクエア前で式典が行われました。お先乗りの山崎菊次郎君（8歳）が神の代理として、綱切りを見事に一振り切って大役を果たしました。

そして、装束に金色の烏帽子をかぶり馬に乗って、屋台巡行の先頭に立ち、善光寺山門での答礼に向かいました。そのあと市内各町会所で答礼し、夏の疫病を祓うという信仰で、市民の健康と幸せを祈って各町を練り歩きました。第五地区内では、会所を北石堂町、南石堂町、末広町が設けて接待しました。

今年の屋台巡行には、権堂町、西後町、新田町、北石堂町、4町の自慢の屋台が登場し、長野駅前広場に初めて乗り入れて、踊りや獅子舞を披露して、門前町は華やかな彩りで賑わいました。



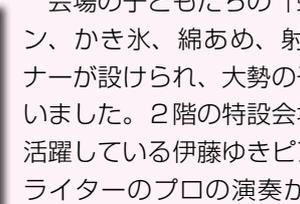
南石堂町 より

第63回 蟻の市 ～毎年恒例！ 夏の風物詩～

南石堂町商店街振興組合と南石堂町による、恒例の夏の風物詩「蟻の市」が南石堂町パーキングで、8月2日（木）と3日（金）に開催されました。今年も会場の座席は拡大して900席に増設したにも関わらず、陽が暮れてオープンすると、日中の猛暑日の暑さから逃れるために、近隣のビジネスマンやOLなどで瞬く間に満席になってしまい、冷えたビールなどを飲みながら歓談していました。

会場子どもたちの「蟻んこ村」では、ポップコーン、かき氷、綿あめ、射的、金魚すくいなどのコーナーが設けられ、大勢の子どもが順番待ちで群がっていました。2階の特設会場では、須坂市出身で東京で活躍している伊藤ゆきピアノ弾き語りシンガーソングライターのプロの演奏が行われ、大勢の観衆が聞き入っていました。

この「蟻の市」は、長野市が推奨する地域間交流事業で、第五地区住自協では信州新町地区住自協と取り組んでいます。今回も「蟻の市」は好評で名物のラム肉「ジンギスカン」焼きを出店していただきました。2日（木）には、信州新町地区住自協と第五地区住自協で交流会を会場で開催し、盛り上がりました。



事務局

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせください。

〒380-0833
長野市大字鶴賀権堂町2201番地20
権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)
メール dai5@feel.ocn.ne.jp